

原料費調整制度について（基準原料価格の見直しのお知らせ）

最近のLPガス輸入情勢で、米国産LPガスの輸入量の増加に伴い国内への輸入価格にも影響がある事から、現在の「原料費調整制度」で適用している「基準原料価格」の算出期間の変更を実施する事となりました。

「原料費調整制度」とは、基準ガス従量料金に「基準原料価格」から前月と当月の産油国輸出価格で算出した「平均原料価格」を差引いた「調整額」を適用する制度です。基本料金には適用致しません。

1. 基準原料価格

今回の変更により、平成28年4月～平成29年3月の期間の平均価格を基準原料価格とします。

*適用開始日：平成29年9月1日以降検針時のガス料金から適用致します。

2. 平均原料価格

中東と米国の輸出価格に検針月の前月の1日～月末までの平均為替を乗じた価格です。

*中東産は前月と当月の輸出価格の平均値を適用します。

*米国産は前月の輸出価格を適用します。

3. 調整額の算出

調整額 円/m³（消費税込、小数点3位以下切り捨て）

$$= \left(\left[\text{平均原料価格 円/トン} \right] - \left[\text{基準原料価格 円/トン} \right] \right) \div 1000 \text{ kg/トン} \div 0.482 \text{ kg/m}^3 \times (1 + \text{消費税率})$$

※0.482kg/m³とは、質量(kg)から体積(m³)への換算係数です。

※調整額がプラスになれば値上げ、マイナスになれば値下げとなります。

4. 平均原料価格算出対応表（2017年9月～2018年3月）

検針月	備考	
9月	中東産	8月と9月の輸出価格
	米国産	8月の輸出価格
10月	中東産	9月と10月の輸出価格
	米国産	9月の輸出価格
11月	中東産	10月と11月の輸出価格
	米国産	10月の輸出価格
12月	中東産	11月と12月の輸出価格
	米国産	11月の輸出価格

検針月	備考	
1月	中東産	12月と1月の輸出価格
	米国産	12月の輸出価格
2月	中東産	1月と2月の輸出価格
	米国産	1月の輸出価格
3月	中東産	2月と3月の輸出価格
	米国産	2月の輸出価格